

医療

生活

17歳の男子。昨年8月、12月、今年4月と計3回、自然気胸を発症し、その度に内視鏡手術を受けました。短期間に3回も発症したので、今後またたび起こるのではと心配です。予防するための日常の注意点を教えてください。軽度のスポーツは問題ないですか。

(愛知県・S)

Q どんな病気ですか。

A 肺に穴があいて縮んでしまう病気で、突然の胸の痛み、息切れ、せきといった症状があります。男性が9割で、20〜30歳前後の長身でやせ形の男性に多いのが特徴ですが、理由は分かっていません。聴診器で聞くと空気が流れる音がしないのですぐに分かり、X線撮影やコンピュータ断層撮影(CT)で診断を確定します。

Q 何が原因でしょう。

A 肺の表面にできた小さな袋

■自然気胸

再発頻繁なら開胸手術も

が破れて空気が漏れることが多いのですが、原因はよく分かっていません。喫煙者に多く、たばこが要因の一つと考えられます。また、都会で患者が多いようなので大気汚染との関係も指摘されています。肺気腫や間質性肺炎といった病気が原因の場合もあります。

Q どうやって治療しますか。

A 軽ければ、数日で破れた穴

が自然にふさがるので、安静にします。たまたま様子をみます。より症状が重いときは、細い管を胸に差し込み、漏れた空気を抜く「脱気」をして、ふさがるのを待ちます。現在では、胸の中を見る内視鏡「胸腔鏡」を胸の2、3力所から入れて穴をふさぐ方法が主流です。ただ、視野が限られることから再発の可能性があり、その場合

が自然にふさがるので、安静にします。たまたま様子をみます。より症状が重いときは、細い管を胸に差し込み、漏れた空気を抜く「脱気」をして、ふさがるのを待ちます。現在では、胸の中を見る内視鏡「胸腔鏡」を胸の2、3力所から入れて穴をふさぐ方法が主流です。ただ、視野が限られることから再発の可能性があり、その場合

Q 日常生活での注意点は。

A 特別な予防法はありませんが、たばこは吸わないで下さい。ふつうのスポーツ活動を制限する必要はありませんが、再発した時に助けを呼べないようなスポーツや、1人で山に登るようなことは避けて下さい。

どうしました



田中 健彦さん
たなか たけひこ

都立豊島病院副院長

(呼吸器内科) 東京都板橋区

は胸を開く外科手術をします。手術に耐えられないときは、薬剤や血液を入れて穴をふさぐ治療法もあります。

Q 再発を心配されています。

A 繰り返すほど、再発が起きやすくなります。再発率は内視鏡による治療で5%程度、開胸手術では1〜2%です。もし4回目を再発した時は、開胸手術や薬剤を注入する治療方法を検討していいかも知れません。